

。永く思索と研究を重ねた結果、英玉へシヤ
ム。の原料として、亜硫酸漬けにして輸出を試
みることにした。その当時のメーポリック組
合の重役會は、キヤナリーへの對抗策として、
エロップ種の生、械をかけた大博打をやつて
みる外はないと決し、一九四五年サエポールを
作つて英玉エロップの果シヤム會社に送つた
。有聲の返りに自信が出来たか「着荷検査の
上、代金を払う」という条件あり他の組合
は、そんな危険は二兎たてと知る、併しキヤ

10x20
68

十リ判に封する銅鑄土塊々のメーブルリッパ組
 合の重役會は、今後永久の新斗武臺として、
 英王輸出をどうしても成功させねばならぬ。
 一九三四年に約一萬弗の亜硫酸漬の輸出を
 決りする事にした。
 この悲憤、決意に押しても悪宣傳は亂れ飛
 んだ。即ち赤道通過の際に、英は落けて運兵
 手出したと、またことしどかに宣傳し、又組合
 員を不安にさせるのだ。底に追せられた重役
 又英配人は組合員の不安を新機に燃えさせる不

10X20

769

安の月が一ヶ月半続いた。突然のビッド銀
からメ組合の銀はに吉報が飛込んだ。その
電報に依ると、数値を除く外契約金全部を支
払うといふのである。メ組合は一万坪の丁
半に勝つた訳である。この冒険が瑞穂とあり
シヤム海市場は無限大の開いた。そ
の翌年からは、日、白合せて毎年の輸出量が二
千噸を越すに到った。悪魔の火元の連中が
真先に輸出加入を頼んで来た。メ組合の四月
陰から一失敗に終わった。ふらふらと暗笑を
10X20
70

損失は組合だけで背負ひこむの成功すれば
 カナダの産業全体にとつて莫大の利益となる
 のがゆゑ組合でも産業組合でも凡ての協同組
 合運動は同じ経路をたどるものがある
 一、ポルリッパ組合の冒険は成功した。年々
 二千順近の玉の売りのジャム毎の値段は農
 家がつける立場にあつた。少少小粒でも徴が
 出ていても文句なしに取り引きせねばなら
 ない。地元のキヤナリは悲鳴を挙げて、
 政府へ、玉の産業を保護せよと泣きつゝいたが

10x20

71

後の糸、毎年春ビレレ、母聯合販売が之を左
 値段を払うねば、シヤム母は買えぬ、あつた
 の、此は実に痛快極まる思ひ出の、一つであ
 る。かくして永年の次男が家の鉄枷から解放同組
 合の自覚に依つて、ち取つた農家の自由も一
 九二二年の大戦勃発と共に、つし、如く沿岸方面
 六十日の日系母農家は、春の半入此の肥料を
 入北、母を買ひ、八分収獲、又一步前に強制立退き
 とあつたのである。

10x20

71

ノリゾフノ帰道館支部

一ノ青井金太郎は一九二一年金員の心身

練磨の目的で、柔、金道を創めた。その後援

金として、誰彼中屋、古加四郎、沖正一、永

屋、造、今田嘉市、神崎芳雄、岡部照吉の

諸氏、特に誰彼氏の如きは文字通り録食を志

して奔走した。この後援金が寄附金を集め、

滝本利和材所から多量の板を寄贈され、一九二

六年、農舎ホールは隣接して、岡口市興行六

十、吹の道場を建て、豊田二枚を日本より取り

10X20

コレストロア

よせ、たのその当時としてばかり唯一の新道
場を、道場員は八十余名あつた。この翌年の五月
少年を懇切に指導したのには、新治一太へ二
三谷保へ現田改へと、稽古日にははエイ、ヤ
のかけ声、雨、よく、若人の雑気のはけ場とい
て盛況を極めた。年中行ふの、一つとして、あ
道大会には、晩市やス、ア、ト、ハ、の、撰、手、を
迎へ、へ、系、全部の、後援を受け、仕合を
公開し、地方名物の一つとあつた。今は
物故せられた故、永岡九段、由、この新道場に、臨時席

10X20

(2)

コリスゴア月鑑

さ北た事であつた。僅か十年間の訓練であつたが、後援會の激励と會員の熱心と相俟つて、メーパルリッパ道場が生んだ有段者は、料治一太、尾崎定美、菊田登、宜少静夫、三谷裕、清水登、三谷保の七名で、大抵後各地に散任して、各都市の白人青少年の指導に當つてゐるものが多い限りである。

10x20

3

月
心
子

10x20
B-1

を差止める如く、
 税の実施期日を
 政府へ申告
 する事、市場監
 督官との連絡、
 一般毒産業に
 関する鎖、物の
 立法、及び修正
 の研究等であ
 る。初代協同会
 長には、晩島キ
 ーテン組合
 長、オイルフイ
 ルド氏、副会
 長には日本人が
 選出される。常
 例に於いて、山
 本氏が当選して
 いる。

10x20

B-2

一九三九年九月始め、語学校教師、吉野、
 崎山両教師共に辞職を申し出られ、九月十七日
 、有賀千代吉を招聘する文部成立す。
 その当時生徒数 百四名、有賀氏の教育理
 想として、二世教育の根幹は、善良ある力十
 分市民に育てるという一事を、父兄はこの契
 を了解されたといふべかられた。
 一九三九年十一月十一日、フレンド
 日本語教育懇談会設立する（へネ）校提案
 フレンド村生活は都市生活より明白

10x20

153

一九四四年の暮は、非常に不景気で、村
 の白人間に貧窮家庭多岐あつた。村
 々商業会議所主催で、村内約百五十家族に
 一戸五弗のクリスマス、ハレパーを贈る運
 動が起された。日本人農会も募金運動に参加
 し、高嶽役員山崎氏主催となり、日本人間の
 募金運動をした。日本人の貧困家庭は僅かに
 二戸だけあつた。

10X20

5
134

竹月理法

一九四四年に創立せられたフレッチャー

教育会はこの農村日童生月少年の指導す、二世の日

本語教育の方針決定や実行の申合せ、各校見

童の作品交換、対校討論会、連合雄辯大会あ

どの催しは、入不語学校の有賀校長の創意

によるものばかりであった

同年三月、メーポールリッヂ仏教会が入仏式

を執行了、十数名の稚児の行列が、仏教会か

らツラエクロードに出る、メーポールリッヂ知事

地の光亡者記念塔を一周し、五お寺に帰還した

10x20
B4

一九四四年十一月、石井康領事の講演
 主として二世を「善き市民」として育てる上にある二
 とが決定しておれば、後の事は自ら解決する
 のこの根本原則の上に立つて日本語を教へる
 の力加外と日本の間には立つて、両玉の二とを
 知つてゐる市民が居る事は、曰、加西玉のた
 めに必ずしもあると
 一九四五年三月、有馬校長住宅新築落成す
 同年世界の平和使節、新白地博士を記念す
 るためビレリ大興業に、日本から寄贈された

10x20 137

竹書紀年

大石燈籠建立に本会より寄附をした。
同年十月十日、日本人会より、恩賜記念着
生會の臨時管理委員会開催するにつて代表
の出席を案内に来る。岡氏を送るものとある。
一九三七年三月、秩父の宮奉迎に学童代表
も参加せしむることにした。
一九三九年、日支交戦皇軍慰問金を、合計
七百六十二弗集金し、領事館を通じて日本紅
十字會へ領事館送金した。

10x20

58

竹書紀年

一九三八年（昭和十三年）度生兵猶予申告
在廿五件扱つた。農會が副保証して領受給へ
提出するの知ある。
昭和十一年、日本創刊二十六周年記念事業
として、一ネー農會、史を編集する事に可決
し、編集委員として有賀校長、山家西氏に依
頼し、全役員これに協力すること。
一九四〇年二月の總會に於て、祖玉政事、二
十六周年紀念に際し、本會教育功勞者に表彰状
を授与する決議が通過し、山家、田村、篠原、工門

Duplicate?

10x20 10A

乱し、農家大血分利益を破壊する行為を去す
 又商人が、自己の利益のみのために市場を攪
 はし、物販立地の農産物の販売に、少数の農家
 ばかり、天産物市場管理法の、究極の担ひ
 一九二四年に一般の株式市場に依り通過した
 天産物市場管理法（一九二四年）
 し、一般に配布する事を決意された。
 而して紀念事業として、児童文集を編集し
 した。

10x20

B9

の権力を抑制し、農民大衆の利益を保護しよ
うと企てたものがあった。即ち七割五分の農
家の利益を保護するたため、二割五分の反対
者を強制的に統制販売に協力せしめて市場へ
の配給を円滑にし、同産業全体の利益を目標
としたものであった。随つて強制的な少数
者の反対運動は終息し、極めてこの法律の草
案は一九二八年頃から作られたものから果地
地方の果樹、野菜業者の中、同業組合に加八
世、市場の配給を担う独立農家（主として

10X20

B10

支那人系野菜業者）や市価を切り下げる市場
 を他反しやうとする米物仲買商人など、主統
 する目的であつたが、沿岸の業者も、毎年
 生産量が増加するにつれて、少数の独立農家が
 市場を飽らし、市場を攪乱する傾向が生じた
 ので、市場統制のためには組合派が指導して、遂
 に一九四四年に日、白農家の一般投票（借地
 支那人は除外する）により法律化されたものの
 である。その頃のは系農家の大部分は、果物
 業者組合に加わつて、毎販売聯合会の組織を建

10x20

11-11

んを好成績を挙げたが、借地人農家
は非協同の理由で管理費の投票権を
与えなかった。一般投票を方法と
した。法務省管理委員三名の中一人は日本人から
選出される事になっていた。日本人は法律上
選挙、被選挙権は全に不備、産業上は日
、白協同する事に依つて、方法を実施する官
吏の一人に選ばれ、又那人が与えられ、
い投票権を認められ、いたのである。
その当時毎年の総生産額の割拠は日本人

10X20
12-111

が生産し、それを販売する近郊市場の小売店
 の八割は又那人に依つて経営され居たり
 生果市場は品物の時は高價に売れ、供給が
 増すと、保存出来ぬから、値を下ゆ或は投
 売りする。その翌日は投売値がその日の
 市値にある。しかかも商人は買ひしゆるの例
 は一日十箱売る店が、その競争店の投売値
 を心配して五箱しか買はぬ。全部の小売値が
 一定價あり、心配ありに二千箱売れる市場で
 その半分も売れぬことになり、その上競売

10x20

13-12

りにふると、市價はがた落ちする。それを及
 理法で農家の供給源を調節し、市價を安定さ
 へすれば商人が安心して買うから沢山の荷を
 高價に売ることが出来る。沢山の荷を法律
 の機能で強制しようとしたのである。併し生
 果関係の農家と商人の大半が法律を守り二
 とに依つてその法の効果が得られるのであるが、大
 数が法を潜れば、何の効果もない。管理法を
 農家の統制は出来たが、市場の八割を牛耳じ
 る商人が違反するのをどうする事も出来な

10x20
 B-13

一、たゞこれを見ても如何に非協同農家や商人
 か、農家大衆の利益を破壊してゐるかが判る
 。丁株のやうな世界一の協同農業國に於てさ
 え、幾分かの非協同者が在る。あつちの産業
 の中でも農家の協同運動が、最も困難である
 とされてゐる。日本農會語學校に於ては、
 一九三五年、ハネ農會語學校に於ては、
 日本語の應用實習の手段として、多紙の通信
 文に重きを置く方針をとり、日本語の辯論練
 習の目的を、英語の語學校と對抗討論會を

10X20

13-14

を偉した。このツエエ校の志風草子の雄辯、
 一ネ一校の米山操と對抗、その舌戦、審判者
 を迷はしめた、僅かに音聲の真如へネ一校に
 旗上るの次、はるツエエ校で大会の申合せ
 を示す。
 同年、バスケ、バドミントン、日本学生、
 全体の統一機関とする運動起る。この頃より
 日本人習にエロハ保守派、アカハ進歩派の
 勢力争ひ漸やく激化し、地方団体にも波及し
 た。

10x20

一九四六年十月、ハネー日本婦人會の創立
 五周年紀念祝賀演藝會を催し、頗る盛大であつた。
 同年四月、バレエ、バの下高、ドクタート等の
 努力による無料診療所を設け、その活動の結果
 果、日本人間の結核患者數一白人の三倍に達
 した。白人同様の線まで引き下つた。ハネー農會
 にも度々出張を乞つて、テストを行
 い、第一回百十九人の中十九名反應を呈見し
 第二回目に廿七名の新患者を呈見、早期
 手術を行ひ、大事を未然に防いだ。

10x20
B-15

同年十月の定期総会に於て役員改選

会長、古賀四郎、副、神崎、幹事、梶浦

今計、西本、議長、三谷、学務、吉野

同年十一月、農会の元老の一人、中山要太

郎氏は、家族同伴帰西せられたり会員、池田

圭一氏も家族同伴して日本へ引き揚げたり

一九四七年、幼稚園児童二十二名、
主母、
名

主母、今文庫は、日本より来訪されたり、
名

龍徳先生にお頼みして、西本八冊購入し、
比白主母

今年に有益な本を知りたり

10x10 B-16

同年三月、英皇宮の戴冠式に、日本天皇
陛下市名代として市役英の途を力加にとり
北左秩父の宮に同妃殿下をバエクハに奉迎
する金にて矢多加する事により決す。当日は古賀舎
長、三谷隊長、堀南幹事の三名と学童代表五
名を連れ出迎せしめ奉迎の列に参加せしめた
之同年四月十日、キムネ、ヨシ、イナ、五世の戴冠
式に力加が総立ちの奉祝に入。市役系側から、
花火十五発を打ち、新年に紀念樹を植樹し、
学童踊りや、茶店を出した。

10x20

B-17

△ 有賀校長の報告に、二世に英語教授の補助
機関として、演説会、討論会、語彙会、母の
慰安会、英語和訳会等、世に日本語の應用力を
養ふ方針を採つてゐる。と農會事務委員会は
、有賀校長の教授方針、青年少年の指導原理は
吾等在留民の遵守すべきものと認め、全般的に
之れを支持し、当農會不動の指針として、各
会員に理解徹底せしむるよう最善の方法を講
ずるよう農會役員会に要求する。と決議を通
過した。

10X20
13-18

子夏一文

10X20
K-1